

盛岡みたけ支援学校

研究テーマ

「仲間と共に、社会の中で主体的に生きる

児童生徒の育成」

～「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた
授業改善を通して～（2年研究2年次）

1 全校研究

(1) 主題設定の理由

学校教育目標「一人一人が輝く存在として主体的に生きられるよう社会的自立を支援する」を実現するために、「社会の中で自分らしく主体的に生きていく姿」を目指す児童生徒の姿として研究を進めていく。

「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の視点で授業改善を行い、新しい時代を生きる児童生徒の確かな成長につながる授業実践に取り組んでいく。

(2) 研究内容・方法

次の授業で主題に迫る授業改善を行う。

小学部：生活単元学習

中学部：作業学習 高等部：作業学習

次の取組を通して「社会の中で自分らしく主体的に生きていく」姿を実現させる。

- ・授業の課題分析、参観、情報交換、ワークショップ、研究授業等を通して授業の改善を図る。
- ・PDCA サイクルによる授業づくりを推進し、授業のポイントを明らかにし、全体で共有する。

(3) 研究仮説

「仲間と共に、社会の中で主体的に生きる」資質・能力を育むため、発達段階に応じた「主体的、対話的で深い学び」の視点をもって授業改善を重ねていくと、児童生徒が身の回りの人や物事に主体的に関わり生きていこうとする姿が実現されるであろう。

(4) 全校研究会・授業研究会

①第1回全校研究会 5月12日(水)

今年度の研究についての提案・協議

②全校授業研究会 12月14日(火)

小学部 生単「とうふやさんになろう！」

研究会では「見通しをもてる」「進んで活動に取り組める」「やりがい、達成感、喜びをもてる」ための指導の在り方を、全職員が10グループに分かれて協議し、授業の改善案を発

表し合った。

③第2回全校研究会 2月15日(火)

2年次研究のまとめと次年度の提案・協議

2 各学部の取り組み

(1) 小学部

- ・研究を通して目指す児童の姿

「ひと、もの、こと」に興味・関心をもち、進んで活動に取り組む姿

- ・生活単元学習の授業作りのポイント、振り返りシート活用
- ・授業改善検討会の実施(計3授業)

(2) 中学部

- ・研究を通して目指す生徒の姿

自分の役割や仕事に見通しをもち、意欲的・積極的に精一杯頑張る姿

- ・中学部「作業学習」の授業づくり10のポイントの共有化と活用。
- ・質問紙法とKJ法を用いた分析
- ・授業研究会の実施(1授業)

(3) 高等部

- ・研究を通して目指す生徒の姿

自ら進んで作業に取り組み、自分の力を存分に発揮し、喜びをもって働く姿

- ・PDCA サイクルによる授業改善
- ・主体的・対話的で、深い学びの視点に基づいた「みたけスタンダード」の確認
- ・授業研究会の実施(計3授業)

3 講演会

演題：「主体的・対話的で深い学びの視点を踏まえた授業づくり—社会の中で他者とかかわり、よりよく生きる児童生徒の育成を目指して—」

講師：弘前大学大学院教授 菊地 一文 氏

期日：令和3年7月28日(水)

※奥中山校とTeamsによる合同開催。

二戸分教室は、Teamsでの参加。

4 研修会

(1) 校内研修

①職員研修の日 7月29日(木)

施設見学と体験型研修を選択制で実施した。

②校内タブレット講習会(計3回)

学部ごとにGIGAスクール構想の内容やアプリの操作方法について研修した。

(2) 研修報告会 2月15日(火)